

The blackbox 3.0 クイックスタートガイド

セットアップ

1. 本体前面のmicroSDカードスロットにmicroSDカードを挿入します。
(切り欠きのある部分を右側にして挿入してください。)
2. オーディオアウトのPHONESジャックからヘッドフォン、またはスピーカーへ接続します。
3. ブラックボックスを電源に接続します。
重要：不安定な動作を避けるために付属のケーブル、またはそれに準ずる規格のケーブルと2A以上の電力を供給できる機器でご使用ください。
4. 起動後、すぐにmicroSDカードからプリセットが読み込まれ、ブラックボックスの画面にはパッドスクリーン(PADS画面)が表示されます。



MicroSD
カード
スロット



電源

オーディオ
アウト

ナビゲーションボタンの役割

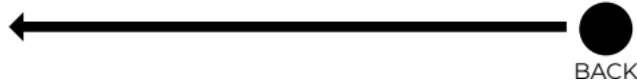
ブラックボックスはPADS画面で起動します。

PADS画面でパッドを選択し、左上のINFOボタンを押すことで各パッドの更に詳細な機能へアクセスすることが出来ます。

8個の白いナビゲーションボタンではそれぞれ下記の表へ対応した機能へアクセス出来ます。

(右上のBACKボタンを押すことで戻ることが出来ます。)

		INFO
PADS	■ WAVの録音と各パッドへのサンプル割当て ■ タッチスクリーンによるパッドのトリガー ■ パッドをMIDI入力にマッピング	
KEYS	■ サンプルに音階をつけて再生またはスライスの再生 ■ MIDIシーケンサーの録音	
SEQS	■ シーケンサーの記録・編集・トリガー ■ 外部機器へのMIDI送信	
SONG	■ パッドやシーケンスのアレンジをシーンへ記録する ■ シーンの再生とループ	
FX	■ ディレイとリバーブの設定 ■ 各パッドのエフェクトセンド量の設定 ■ 4つのEQバンドから、ローカット、ローシェルフ、パラメトリック、ハイシェルフ、ハイカットを選択できます。	
MIX	■ 各パッドの音量とパン調整 ■ 各パッドのミュート	
PSET	■ ファクトリープリセットの読み込み ■ プリセットの作成と管理	
TOOLS	■ 全体の出力(ボリューム)の調整 ■ 内蔵コンプレッサーの無効化 ■ クロックとMIDIのグローバル設定	



BACK

パッドの構成と設定

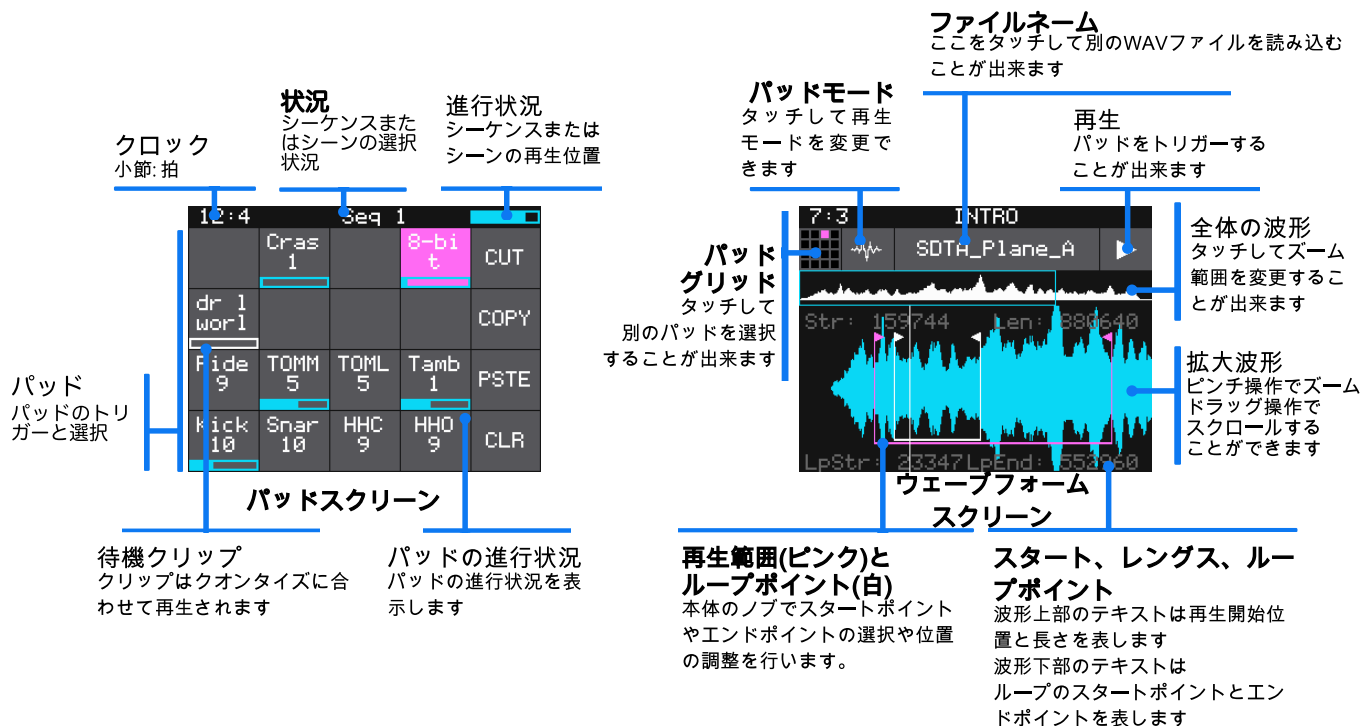
PADSボタンを押してパッドスクリーンを表示します。(左下の図)

タッチスクリーンで各パッドをトリガーすることができます。

※パッドがクリップモード(下記参照)に設定されている場合はPLAYボタンを押すまでパッドは再生されません。

クリップパッドの下部にある白いバーは、クリップパッドが待機状態にあることを示し、再生ボタンを押すか、次のクオンタイズブレイクで再生されます。

タッチスクリーン、またはノブを使用してパッドを選択し、INFOボタンを押すとウェーブフォーム画面(右下の図)が表示されます。続けてINFOボタンを押すとパラメーター画面が表示されます。



パッドモードの選択

パッドスクリーンからINFOボタンを押すとウェーブフォームスクリーン(波形表示画面)が表示されます。

ウェーブフォームスクリーン左上のパッドモードボタンをタッチすることでパッドモードを選択できます。

アイコン	パッドモード	パッドモードの説明	逆再生	同期	ループポイント設定	スライスの再生
	サンプル	シングルノートやワンショットのトリガー ドラムヒットのトリガーなどに適したモードです。	✓		✓	
	マルチサンプル	キーボード全体にWAVファイルのセットをマップします。				
	クリップ	サンプルが同期、クオンタイズされるループ再生モードです。 ドラムフィルやギターフレーズなどに適しています。		✓		
	スライサー	WAVファイルの再生箇所を分割し 任意の箇所や順番で再生できるモードです				✓
	グラニューラー	グラニューラーシンセシスを使用して サンプルから新しいサウンドを作成できるモードです。	✓		✓	
	New Rec, New Multi	パッドをクリアして新しいWAVファイルの録音や割当を行います。				

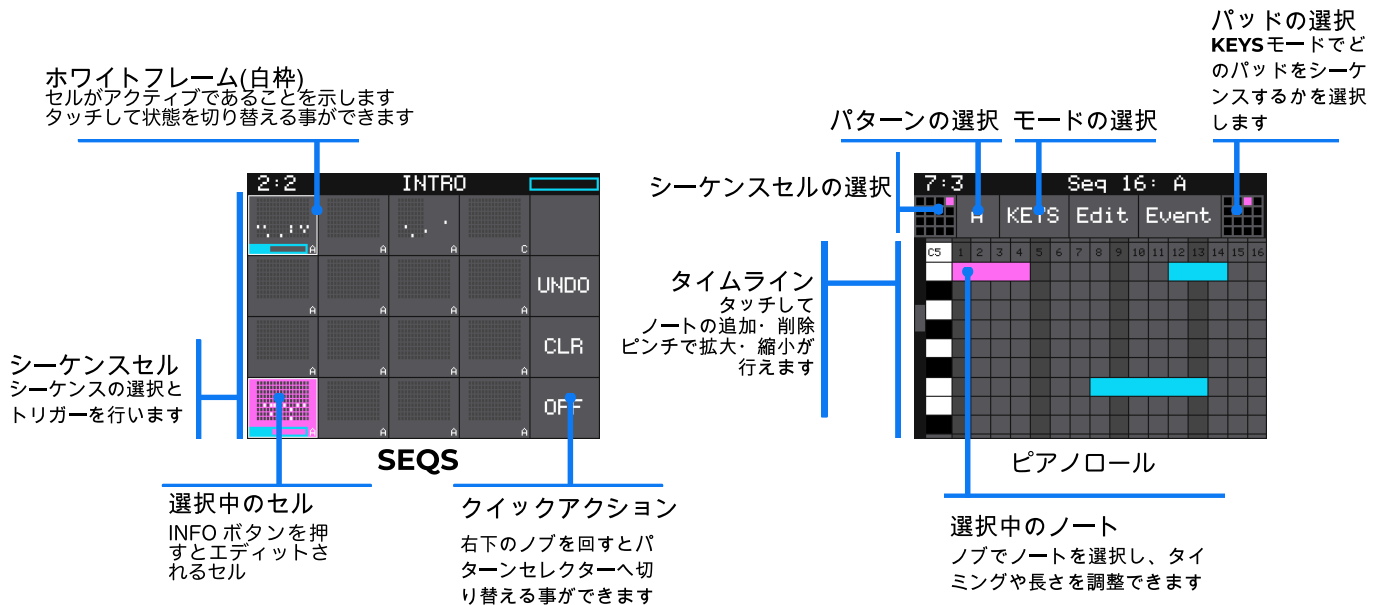
シーケンスの作成

SEQSボタンを押すとシーケンス画面が開きます。

各シーケンスセルは排他的なパターンを4つ備えており、右下のノブを回してパターンセクターモードからシーケンスのパターン(A,B,C,D)を選択することができます。

対してクイックアクションモードではアンドゥやパッドのクリアなどを行うことができます。

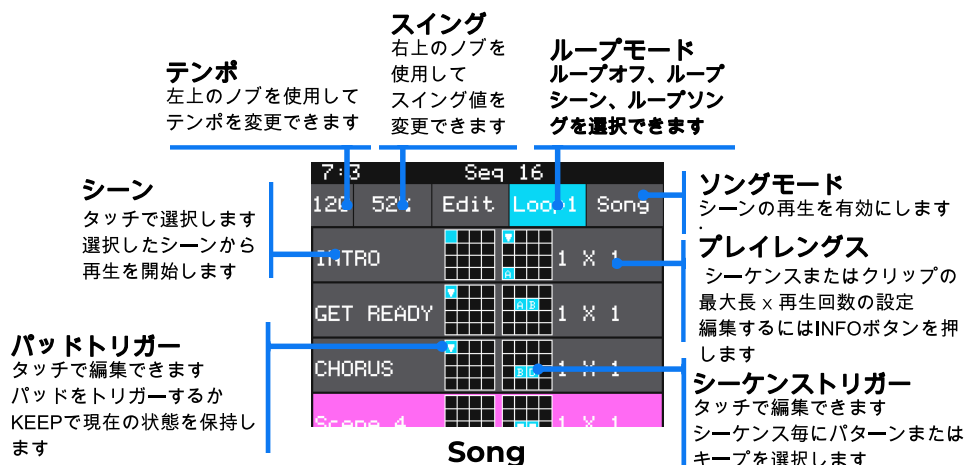
INFOボタンを押すと、ピアノロールが表示され、ノート編集を行えます。もう一度INFOボタンを押すとシーケンスパラメーター画面が表示されます。セル内のすべてのパターンは、同じシーケンスモード(キー、パッド、MIDI)と同じターゲット(パッドまたはMIDI出力)を共有します。各パターンは、異なるステップ長とステップ数を設定できます。



ソングとシーンの作成

ソングボタンを押すとシーンの一覧が表示されます。

Edit(編集)→Add(追加)をタッチして新しいシーンを作成することができます。



【注意】 ブラックボックスは変更を自動保存しません。

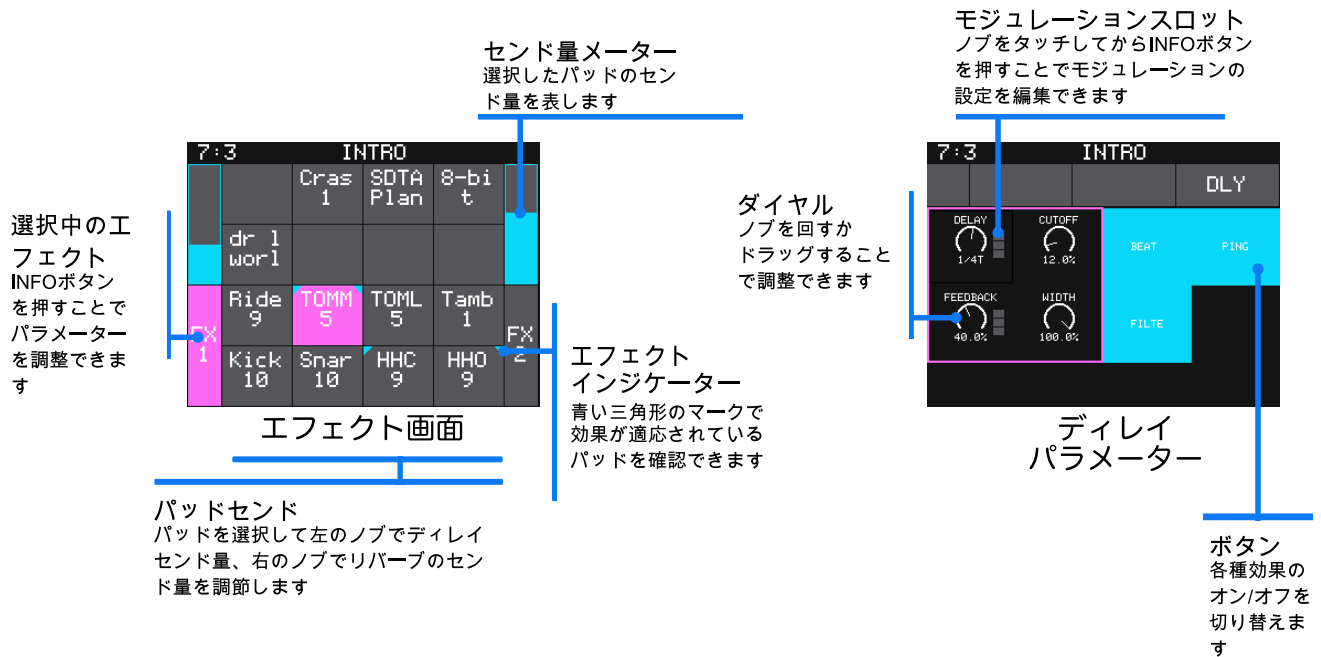
変更を保存していない場合、プリセットを再ロードするか電源を切ると、変更した内容は失われます。

PSETを押してメニューから [Save] をタッチしてプリセットへの変更を行ってください。

その際、[Load] をタッチすると最後に保存した状態へ戻すこともできます。

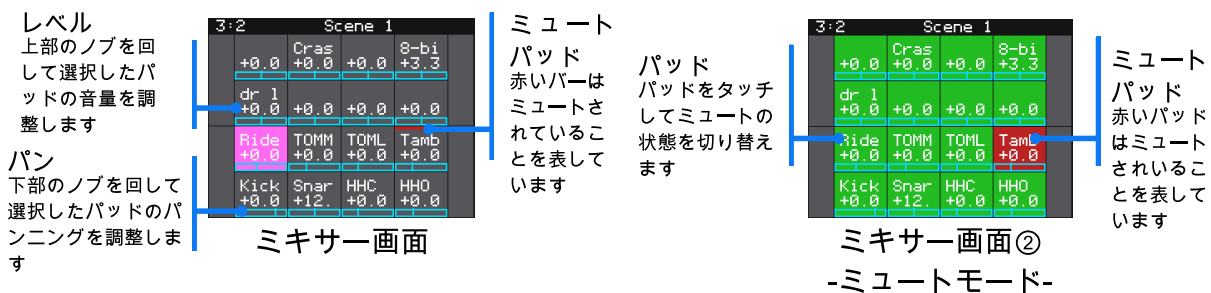
エフェクトの調整

FXボタンを押してエフェクト画面にアクセスします。
ここでは各パッドのディレイとリバーブへのエフェクトセンドを調整できます。
FX1を選択している状態でINFOボタンを押すとディレイのパラメーターを調整できます。
FX2ではリバーブのパラメーターを調整できます。



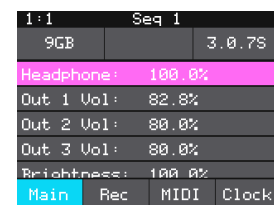
ミックスコントロール

MIXボタンを押すとミキサー画面が表示されます。ここでは各パッドのレベルとパンを調整できます。
もう一度MIXボタンを押すか、INFOボタンを押すとミュートモードに切り替わります。



マスターボリュームの調整

- TOOLSボタンを押してツール画面を開きます。
- 画面下部のMainをタッチしてメインパラメーターページにアクセスします。
- 上部のノブを回してヘッドフォンパラメーターを選択します。
- 下部のノブを回して音量を調整します。



ツール画面

更に詳しく知る

ハウトゥービデオや完全なユーザーマニュアル、サポートコミュニティは、
<https://forum.1010music.com/forum/products/blackbox>へアクセスいただきサポートページへログインすることでご覧いただけます。